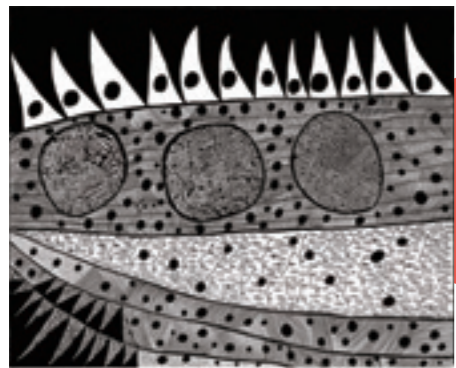




春を待つ女たち [TZW]  
WOMEN WAITING FOR SPRING [TZW]  
2005年 130.3×162.0cm  
シルクスクリーン・キャンバス  
©YAYOI KUSAMA



朝のめざめ [TQSTW]  
WAKING UP IN THE MORNING [TQSTW]  
2007年 130.3×162.0cm シルクスクリーン・キャンバス  
©YAYOI KUSAMA

鮮烈な絵筆の息吹を感じて



私の悲しみの青春の死が足音を立ててやってくるのだ  
DEATH OF MY SORROWFUL YOUTH  
COMES WALKING WITH RESOUNDING STEPS  
2017年 194.0×194.0cm アクリル・キャンバス  
©YAYOI KUSAMA

10月1日(日)  
オープン

### 草間彌生 美術館

日本を代表する前衛芸術家の草間彌生さんの作品や、貴重な関係資料を展示する美術館が開館します。年2回草間さんの作品の展覧会を行うほか、講演会なども開く予定。展示を通じて、草間さんが繰り返し訴えてきた世界平和や人間愛のメッセージを広く世界に伝えることを目指します。

草間彌生美術館 東京都新宿区弁天町107 MAP P.16-17 D-3

**草間彌生美術館開館記念展**  
「創造は孤高の営みだ、愛こそはまさに芸術への近づき」  
期間:10月1日(日)~2018年2月25日(日)  
※12月25日(月)~1月17日(水)は冬季休館

- 開館日 木・金・土・日曜日および国民の祝日
- 休館日 月・火・水
- 開館時間 11:00~17:00
- 入場時間 ①11:00~12:30 (11:30までに入場)  
②12:30~14:00 (13:00までに入場)  
③14:00~15:30 (14:30までに入場)  
④15:30~17:00 (16:00までに入場)
- 観覧料 一般1,000円/小中高生600円 未就学児は無料。  
団体割引の設定はございません。

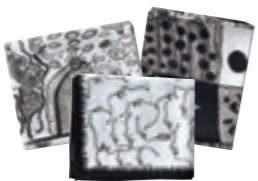
事前予約は公式サイトにてチケット販売をします。

販売情報は下記サイトよりご確認ください。  
草間彌生美術館 公式サイト <http://www.yayoikusamamuseum.jp/>

### 草間アートがお土産になった



かぼちゃクラッチ  
45,000円



草間彌生美術館限定  
ハンカチ (Love Forever)  
3種各2,000円



草間彌生美術館限定  
ハンカチ (My Eternal Soul)  
3種各3,000円



草間彌生美術館限定  
スカーフ  
各30,000円

2017年10月、新宿区に草間彌生美術館がオープン。  
新たな芸術スポットが増えて、  
新宿区はますます芸術・文化の街へと  
パワーアップします。

# 新宿

## 特集 新宿の アート の 聖地 に ようこそ!



わたしの大好きな眼たち  
I LOVE EYES  
2013年 194.0×194.0cm アクリル・キャンバス  
©YAYOI KUSAMA



ナビゲーター  
イラストレーター  
ソラミスト  
安齋肇

### 新宿区から文化を発信

世界は様々な争いの中に騒然として、人々の悩みはいつそう深くなっています。今こそ何を望み、人間としての毅然とした姿勢をいつそう高め、社会の一員として素晴らしい世界をみんな力で合わせて構築していくべきだと思います。私は芸術家として70年以上も作品を作り毎日生命の尊さを祈り続けてまいりました。心の限り、命の限り、真剣に制作したわが最愛の作品群を見ていただき、永遠に輝いた未来、そして人間愛の美しさと、私のこの魂を受け継いでいってほしいという事こそ、私の願いであります。

10月1日に「草間彌生美術館」が開館いたします。長年創作活動を続けてきました新宿区弁天町にて、芸術に親しんでいただき新たな文化発信の拠点となるよういっそう努力してまいります。

Yayoi Kusama

### 草間彌生

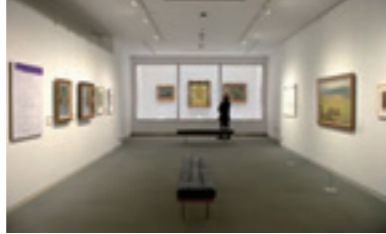
前衛芸術家、小説家。1929年長野県松本市生まれ。幼少期から幻視・幻聴を体験し、網目模様や水玉をモチーフにした絵画を制作し始める。1957年に渡米、前衛芸術家としての地位を確立。単一モチーフの脅迫的な反復と増殖による自己消滅という芸術哲学を見出す。2016年に文化勲章を受章。2017年より、ワシントンDCのハーシュホーン美術館彫刻庭園を皮切りに、北米ツアーが巡回。新宿区在住。2009年に文化功労者、2012年に新宿区名誉区民に顕彰される。



# ART 新宿

NEW

ART SPOT



P24,25の特集も注目!

**漱石山房記念館がオープン!**  
新宿区内の新たな文化スポットとして、夏目漱石の記念館が2017年9月24日(日)に開館します。

NEW 漱石山房記念館

新宿区早稲田南町7 MAP P.16-17 D-3



新宿にまたアートが増えました!  
彫刻家・鎌田恵務さんが、「平和を思い起こすツール」をイメージして制作したパブリックアートが、2017年7月新宿センタービルに設置されました。

NEW パブリックアート「Hand of Peace」

新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル MAP P.10-11 B-3



「りんごとナプキン」

ポール・セザンヌ  
1879~80年

一見無造作に並べられたりんごが堅牢な空間をつくりだし、重厚な印象を与えます。

ゴーギャンとセザンヌの間に、ゴッホ……すごい!



「生誕120年 東郷青児展 抒情と美のひみつ」を開催

開催期間:  
2017年9月16日(土)~11月12日(日)



1987年、「新宿にひまわりが来た!」とニュースになりました



「ひまわり」

フィンセント・ファン・ゴッホ  
1888年

ゴッホは南フランス・アルルで7点の「花瓶に生けたひまわり」を描いていますが、この作品はそのうちの1点です。

あの「ひまわり」がここに

ゆかりの深かった東郷青児の油彩など約230点を中心に、他作家の作品も収蔵。展示室最後のコーナーでは、ゴッホ、ゴーギャン、セザンヌの3点を常設展示しています。



「アリスカの並木路、アルル」

ポール・ゴーギャン  
1888年10月末

落ち葉の舞う秋の風景を描いた作品。1888年10月、ゴーギャンが南フランスのアルルに到着して間もなく描いたものです。

東郷青児記念

MAP P.10-11 B-2

損保ジャパン日本興亜美術館

新宿区西新宿1-26-1  
損保ジャパン日本興亜本社ビル42F  
☎03-5777-8600 ⑨10:00~18:00(入館は17:30まで) ⑩月休(祝日・振替休日の場合は開館)、展示替期間(詳しくは展覧会予定をご覧ください)、年末年始 ⑪展覧会により異なりますので展覧会案内をご覧ください。



落合でアート散歩しよう /

ザロンの雰囲気を今に伝える

佐伯祐三アトリエ記念館 MAP P.18-19 C-2

画家・佐伯祐三が創作活動の拠点とした日本で唯一の場所。当時の敷地に、大正期のアトリエを記念館として再現しています。

新宿区下落合2-4-21 ☎03-5988-0091  
⑨5月~9月10:00~16:30 / 10月~4月10:00~16:00  
⑩月休(祝日・振替休日の場合は開館)、年末年始 ⑪無料

中村彝アトリエ記念館 MAP P.18-19 D-2

大正時代に活躍した洋画家・中村彝のアトリエを、当時の建材を使って復元。使用したイーゼルや家具なども展示しています。

新宿区下落合3-5-7 ☎03-5906-5671  
⑨10:00~16:30(入館は16:00まで) ⑩月休(祝日・振替休日の場合は開館)、年末年始 ⑪無料

林美美子記念館 MAP P.18-19 B-3

「放浪記」「浮雲」などで知られる作家・林美美子が住んだ家。茶の間や書斎、台所など、美美子の暮らしを感じることができます。

新宿区中井2-20-1 ☎03-5996-9207  
⑨10:00~16:30(入館は16:00まで) ⑩月休(祝日・振替休日の場合は開館)、年末年始 ⑪一般150円 / 小・中学生50円



「少女」

中村彝 1914年

中村彝創業者の長女がモデル。内面奥深くまで描き出す表現は、中村彝独自のものと評される。

まなざしいいね



中村屋サロン美術館

新宿区新宿3-26-13 新宿中村屋ビル3F

☎03-5362-7508 ⑨10:30~19:00(入館は18:40まで) ⑩火・年末年始・展示替え時 ⑪展示により異なりますので展示会案内をご覧ください。※高校生以下無料(学生証をご呈示ください)

MAP P.10-11 C-3



2014年のビルの建て替えにともない美術館を開設。明治時代末期から、大正、昭和初期まで数多くの芸術家、文化人たちが集った中村屋ならではの芸術作品を展示します。

幕末から明治時代を壁画で読み解く

明治天皇のご生誕から崩御までの出来事を、80枚の壁画で展示。歴史的な光景を、史実に基づき厳密に描いています。



貴重な歴史資料ですね



「大政奉還」

柳田丹陵 1935年

聖徳記念絵画館 MAP P.12-13 A-4

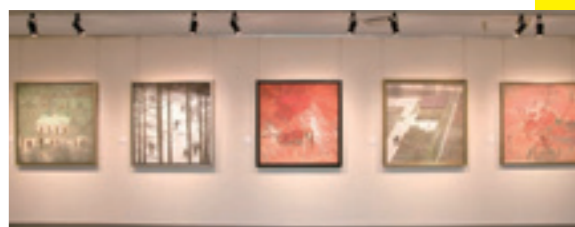
新宿区麩ヶ丘町1-1 ☎03-3401-5179  
⑨9:00~17:00(最終入館16:30) ※年末年始10:00~17:00(最終入館16:30) ⑩無休 ⑪500円

自然を描いた日本画の美術館

1990年の大阪の国際花と緑の博覧会を機に、花と緑、自然をテーマとする現代日本画をコレクション。若手アーティストの活動を支援し、展覧会によって作品を総入れ替えています。

佐藤美術館 MAP P.12-13 B-4

新宿区大京町31-10 ☎03-3358-6021  
⑨10:00~17:00 全10:00~19:00  
⑩月休(展示替期間(詳しくは展覧会予定をご覧ください) ⑪展示により異なりますので展示会案内をご覧ください。※高校生以下無料(学生証をご呈示ください)



PRESENT

草間彌生さんデザインのハンカチと安齋肇さんのサイン色紙をプレゼント!



6名様

3名様

詳細はP.27をご覧ください

の人がやってくる美術館みたいなものがあるから、たまらないです。それでいて新宿御苑や公園などには自然も残っていて、実に懐かしい街です。  
新大久保へは、よく韓国の鍋料理をつつきに行きます。高田馬場には、いい感じのビンテージのギター屋があるんですよ。ついでこの間は、神楽坂をぐるぐる歩き回りました。早稲田と下落合は、タモリさんと赤塚不二夫さんの聖地のような街で、なんだか恐れ多い…。  
新宿区には、まだまだ楽しいことを掘り当てられる「宝の箱」がありますね。  
あんざいはじめ●イラストレーター、アートディレクター、東京都広尾生まれ。テレビ朝日系タモリ倶楽部「人気コーナー「空耳アワー」にレギュラー出演。『ランミスト』の肩書きも持つ。1997年に、イラストレーターのみうらじゅんと「勝手に観光協会」を結成。Eテレで放送中のアニメ「わしも」に声優としても出演。初監督映画「変態だ! B D&V D発売中。

新宿区で楽しいことを掘り当てよう  
「ゴッホの「ひまわり」が新宿に来たとき、ものすごく話題になりましたよ。あの世界的名画が新宿のビルの42階にあるなんて、なんだか不思議です。  
新宿のアートだと、新宿アイランドの入り口にあるLOVEのオブジェがすごく好きです。あと、新宿駅西口の地下通路にある「新宿の目」。見る度にすごいなあ、都会だなあと思っています。  
創作の仕事をする者にとって、アートを見たり、面白い芝居や映画を見たりすることは、アイデアの蓄積につながります。  
新宿を歩けば、知らず知らずのうちに感性が刺激されますね。1980年代のSF映画では混沌とした未来が描かれていたけれど、新宿はもうとっくにそれを超えていて、新しいその先へ向かっているようです。  
僕にとって一番思い出深いのはゴールデン街。みうらじゅんとよく飲みながら、バカ話をしたり、仲間を呼んだり、たくさんのアイデアが生まれました。それに、新宿には僕が大好きな変な骨董品や、変わった趣味

安齋肇 interview



新宿の魅力あふれる美術館をご紹介します!